

年間計画

月	主な内容
4	着任式・始業式 入学式 各種検診・測定 避難訓練 前期任命式 家庭訪問 授業参観・学級懇談会・全体懇談会・引き渡し訓練
5	全校遠足 学校運営協議会 PTA廃品回収 プール清掃 いきいき交流会
6	プール開き・水泳指導
7	七夕交流会 水棲生物観察会 教育相談 大掃除 個別懇談会 終業式
8	
9	始業式 PTA奉仕作業 身体測定 自由参観 児童委員会
10	運動会 後期任命式 修学旅行 学校運営協議会
11	授業参観 PTA人権講演会
12	教育相談 人権フォーラム 大掃除 個別懇談会 PTA廃品回収 終業式
1	始業式 避難訓練 身体測定 学校保健委員会
2	入学説明会 学校運営協議会 教育相談 みんなスマイルぼかぼか発表会 (人権学習発表会) 6年生を送る会
3	小中交流 大掃除 卒業式 修了式

安全点検 5月・7月・9月・11月・1月・3月

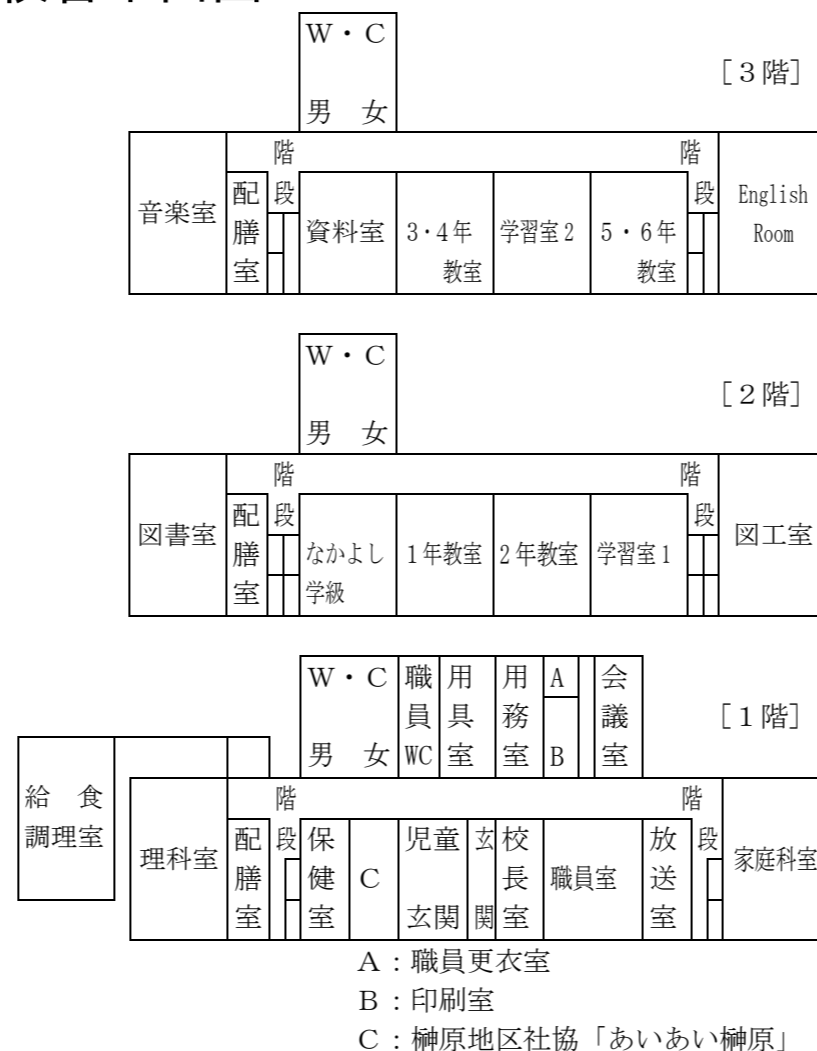
通学団集会 4月・7月・12月・3月

クラブ活動 6月・7月・11月

地区学習会 7月・9月・10月・11月・12月・1月

登校指導 4月・6月・9月・11月・1月

校舎平面図



屋内運動場



運動場

令和6年度

学校要覧



三 二 一

大きい空と布引が
いつも窓から よんでいる
明るい学校 榊原
心そらえて 春にはひらく
つつじのように 楽しいわれら

昔がたりもなつかしい
ななくりの湯は あたたかく
あふれる健康 榊原
つよくたゆまず やりぬく意気も
胸にわきたつ 元気なわれら

松にさくらに 来る鳥が
きょうもなかくよく よんでいる
たゆまぬ勉強 榊原
力集めて 秋にはたわむ
稲穂のように みのろうわれら

校歌

下勝 承夫
皖一 作
曲 詞

津市立榊原小学校

〒514-1251

三重県津市榊原町5848

TEL 059 (252) 0011

FAX 059 (252) 2491

HP <http://ednet.res-edu.ed.jp/s-sakakibara/>



学校の沿革

明治 8年 6月 1日	榊原小学校、谷杣学校創設
明治22年10月17日	榊原尋常小学校設立（創立記念日）
明治44年 7月 6日	谷杣学校廃止
大正15年 7月	榊原青年学校併設
昭和13年 5月13日	木造新校舎・講堂落成
昭和16年 4月 1日	榊原国民学校と改称
昭和22年 4月 1日	榊原村立榊原小学校と改称
昭和30年 3月 1日	久居町立榊原小学校と改称
昭和32年 2月	新校歌制定
昭和38年 8月11日	プール完成
昭和44年 3月	岩石園完成
昭和45年 8月 1日	久居市立榊原小学校と改称
昭和50年11月 3日	学校創立百周年記念式典
昭和57年 3月27日	現校舎落成
昭和61年 2月10日	屋内運動場落成
平成 5年 3月	正門完成
平成 9年 3月	運動場北側法面工事完成
平成12年 2月	運動場北端に鳥小屋完成
平成12年 8月	運動場暗渠排水工事完成
平成12年10月	コンピューター室完成
平成13年 4月	体育用砂場、遊戯用砂場完成
平成14年 6月	プール内部及び周辺修理
平成18年 1月	市町村合併により 津市立榊原小学校と改称
平成20年 8月	浄化槽修理
令和 元年 6月	全教室空調設備完成
令和 3年 4月	学校運営協議会設置
令和 5年10月	屋外トイレ撤去

児童・地域の実態と概要

伊勢湾を望む布引山系の麓、津市久居地区の最西部に位置する榊原は、のどかな山野に囲まれた自然の佇まいの中に民家が散在する。温泉の町としても知られ、地域は徐々に変化しつつも、今も昔と変わらぬ風情を醸し出している。

本校には、かつては400人以上の児童が在籍していた時代もあったが、現在は24人と年々減少し、平成30年度より複式学級を有する学校となった。（本年度は2学級が複式学級である。）

三世代同居家庭も多く、地域で温かく見守られ、児童は安心した環境で学ぶことができている。

小規模・少人数を生かした教育により、基礎的な学力の定着を図っているが、変化の激しい時代を生きる子どもたちには、さらに、コミュニケーション能力や自ら課題を発見し解決する力、困難なことや苦手なことを乗り越えるたくましさをも身につけることが必要だと思われる。そこで本校では、自分で考えて行動し、課題を乗り越えるために努力する児童の姿を目指している。児童一人ひとりには純朴で人懐っこく活気もあり、地域や集団生活の中で感謝の気持ちや相手を思いやる心が育ちつつある。さらには、お互いに認め合い支え合う仲間意識の伸長へと発展させていきたい。

明治8年の榊原小学校創設以来、150年を迎えようとする永き歴史の中に、輝かしい文化・伝統・校風は脈々として受け継がれ、児童の地域学習に関しても多大な協力をいただいている。

学校経営の改革方針

教育目標

心豊かで、確かな学力をもち、心身ともに健やかな子どもの育成

めざす学校像

- とともに学び高め合いながら、一人ひとりの子どもが生き生きと輝く学校
- 地域の教育力を活用し、創造性豊かで活力のある学校
- 保護者や地域とともに、小規模・少人数の利点を生かした教育活動の充実をめざす学校

具体的な行動計画

（1）確かな学力の定着と体力の向上を図る。

- ・校内研修を充実させ、一人ひとりの課題の分析と克服に向けた手立てを検討し、成果を検証する。
- ・GIGA スクール構想に基づく一人1台タブレットを活用した授業の実践をさらに進め、効果的な利用により、個々にあった学び方ができるようにする。
- ・めあてとふり返りを充実させ、児童が主体的に課題解決に向かうわかる授業、楽しい授業をめざす。
- ・少人数によるきめ細かな学習指導や「ばらっこタイム」の活用等により、基礎的・基本的な知識・技能の習得に努める。
- ・縦割り活動や異学年交流を、幅広い場面において展開するとともに、他校との交流学习を実施することにより、子どもたちの人間関係を活性化させ、コミュニケーション能力や課題解決力を育成する。
- ・家庭学習の習慣化に努めるとともに、読書活動を推進し、読書好きの児童を増やす。

（2）人権尊重の精神を育成する。

- ・仲間づくりや地域の高齢者等との交流、人との出会い等を通して、いじめや差別を許さない感性や態度の育成に努める。
- ・すべての子どもたちに自分の大切さを自覚させ、課題を乗り越えさせる教育活動を進める。
- ・発達段階に応じたカリキュラムのもと系統的に人権教育を進め、その中に人権集会・地区学習会を位置づけ、人権課題への学習の成果を交流し、人権意識の高揚を図る。
- ・保護者や地域住民への啓発活動を行い、人権意識を高める。

（3）地域に対する誇りと愛着を育成する。

- ・地域の教育力を活用し、豊かな体験活動を通して、地域で大切に育まれているという実感を味わわせるとともに、一人ひとりの可能性を伸ばし、自信と意欲をもたせる。
- ・地域の人たちとの交流を通して、地域の自然や歴史、人との関わりについての学習を深めることにより、地域に対する誇りと愛着を育て、地域に貢献しようとする態度を育てる。

（4）小中の連携や架け橋プログラムの推進を図る。

- ・中学校区の保幼小の教職員で子どもの姿や育ちについて語り合い、架け橋期のカリキュラムを作成する。
- ・幼小交流、校区の小中学校との交流を計画的継続的に行う。

（5）教職員が働きやすい環境づくりに向け、総勤務時間の縮減に取り組む。

- ・毎週木曜日を定時退校日とし、できないときは各自で定時退校日を決め、過重労働時間の縮減をめざす。
- ・昨年度比で、休暇取得日数年間3日間の増加をめざす。

日課表

	月	火	水	木	金
8:20～ 8:30	ばらっこタイム(職員打ち合わせ)				
8:30～ 8:45	朝の会・朝の学習				
8:45～ 9:30	第 1 限				
9:35～10:20	第 2 限				
10:40～11:25	第 3 限				
11:30～12:15	第 4 限				
12:15～12:50	給 食				
12:50～13:20	休 憩	13:10～13:55			休 憩
13:20～13:35	清 掃	第5限			清 掃
13:40～14:25	第5限	13:55～14:05			第5限
14:30～15:15	第6限	帰りの会			第6限
15:20～15:30	帰りの会	クラブ等がある場合 4・5・6年は6限			帰りの会

在籍児童数及びP数（5月1日現在）

	男	女	計	PIA会員数
1 年	3	2	5	3
2 年	4	1	5	3
3 年	1	2	3	1
4 年	0	2	2	2
5 年	2	3	5	5
6 年	1	3	4	4
合 計	11	13	24	18